

I 平成 28 年度 事業報告

社会福祉法人会津療育会の理念、施設運営の指針、平成 28 年度短期事業計画に基づき、取り組むべき目標を実現すべく、アガッセ事業推進委員会を中心に各委員会、係、各部署が一体となり、事業を推進してきました。

特に、人材育成の仕組みづくりについては、外部のコンサルティング会社の協力得て、考課者及び被考課者研修を実施しながら、具体的実施を進めてきました。

施設入所支援、通所支援、短期入所支援の各事業については、第三者評価結果を受け、短期事業計画に反映させて必要な改善に努めてまいりました。また、具体的な支援等においては利用者へのアンケート調査やご家族の懇談会を実施し、より質の高いサービスの提供に努めてきました。

相談支援事業についてもこれまでの事業委託も含め、会津地域における相談支援体制の強化に努め、関係機関との連携強化を図り、地域における課題の共有化をすすめ、一体的な支援体制の整備に努めてきました。

1. 法人組織の安定した運営と人材育成

人事考課制度については、平成 28 年度より本格導入し具体的な取り組みが始動しました。実施の過程で制度に対する理解不足や新たな課題が判明し、外部コンサルタントによる考課者・被考課者研修や問題解消のための協議等を行い、制度の円滑な定着を目指しました。

また、平成 29 年 4 月 1 日から施行された社会福祉法人制度改革に遺漏なく備えるために、的確な情報収集と迅速な対応に努めました。

2. 在宅支援サービス事業の強化

グループホームの開設に向けての検討は、利用者ニーズや地域におけるニーズなどにおいて明確な方向性が見出すことができず、当法人における取組みに対して根本的などころで見直す必要性があり、計画的な進捗がみられませんでした。

短期入所事業については、予約方法の見直しを行うことでより利用しやすい状況となり、高い利用率を安定的に保つことができました。通所生活介護事業においては、活動への家族参加や家族懇談会を実施し、日頃の活動の様子をお伝えしたり、ご家族の想いに寄り添えたことなど、より良い方向に進めてきました。今後は家族懇談会の定着と内容の充実に向けての取組みが必要と考えています。

相談支援事業については、会津若松市障がい者支援センターカムカム内の各機関との連携を図り、情報交換を推進してきました。また、計画相談支援事業の推進を図り、着実に実施してきました。また、自立支援協議会の各部会等に参画し、地域ニーズへの対応を各機関と連携を強固に推進しています。

3. 入所者の生活圏の拡大と生活の質の向上

日中活動、外出活動、施設行事等を充実させることで日々の生活の質の向上を図るとともに、利用者の主体的な関わりを目指した日中活動計画や、利用者間の日常生活内におけるルールを共に考える機会を設けることなどを実施しました。

また、地域移行に向けて、地域生活シンポジウムを開催し、情報の提供を行いました。

4. 地域貢献と広報活動の強化

外部との交流を推進するためにボランティアの皆様への感謝祭を開催し、好評を得たとともに、引き続き多くの方に訪れていただけるように努めてきました。

作品展示会においては、市内の生活介護事業所にも参加を呼びかけ、共同で作品を展示することにより連携を図る機会を得たとともに、公開講座を同時開催し、より市民の皆様身近に感じていただけるように努めてきました。

また、ホームページのリニューアルにより、日々の日中活動の様子の情報発信が行いやすくなったことで、定期的な記事の掲載が可能となり、より充実した公開情報のページも作成することができました。